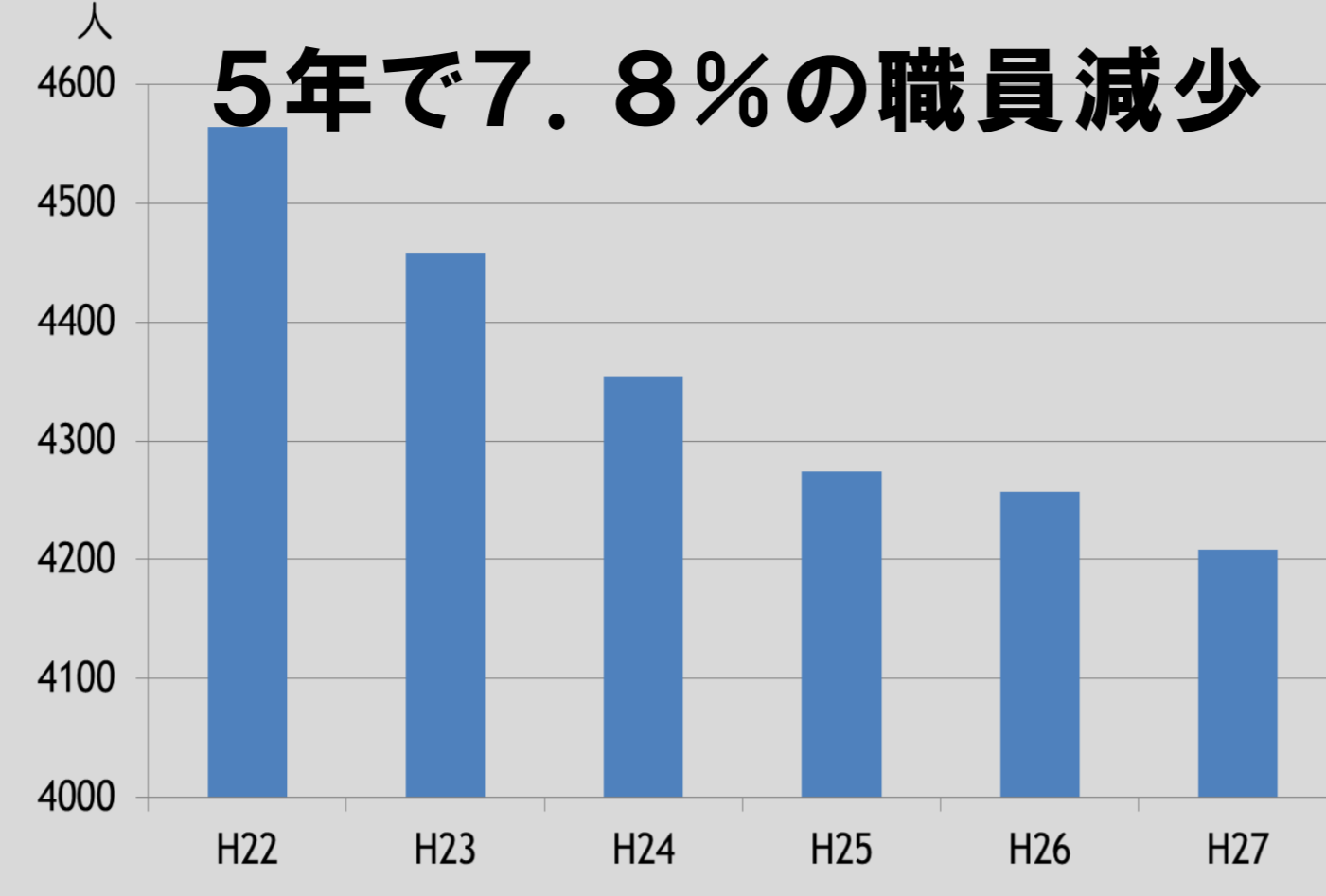


背景と問題

進む人口減少

熊本県の職員は、過去5年で7.8%の人員削減

更なる価値の創出

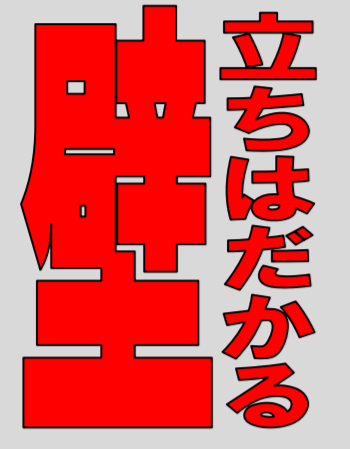


求められる業務改善

限られた人員の中で新たな価値創造を達成するためには、「時間」的リソースを確保することが必須である。

しかし...

既にパワー不足... 忙しい、時間ない



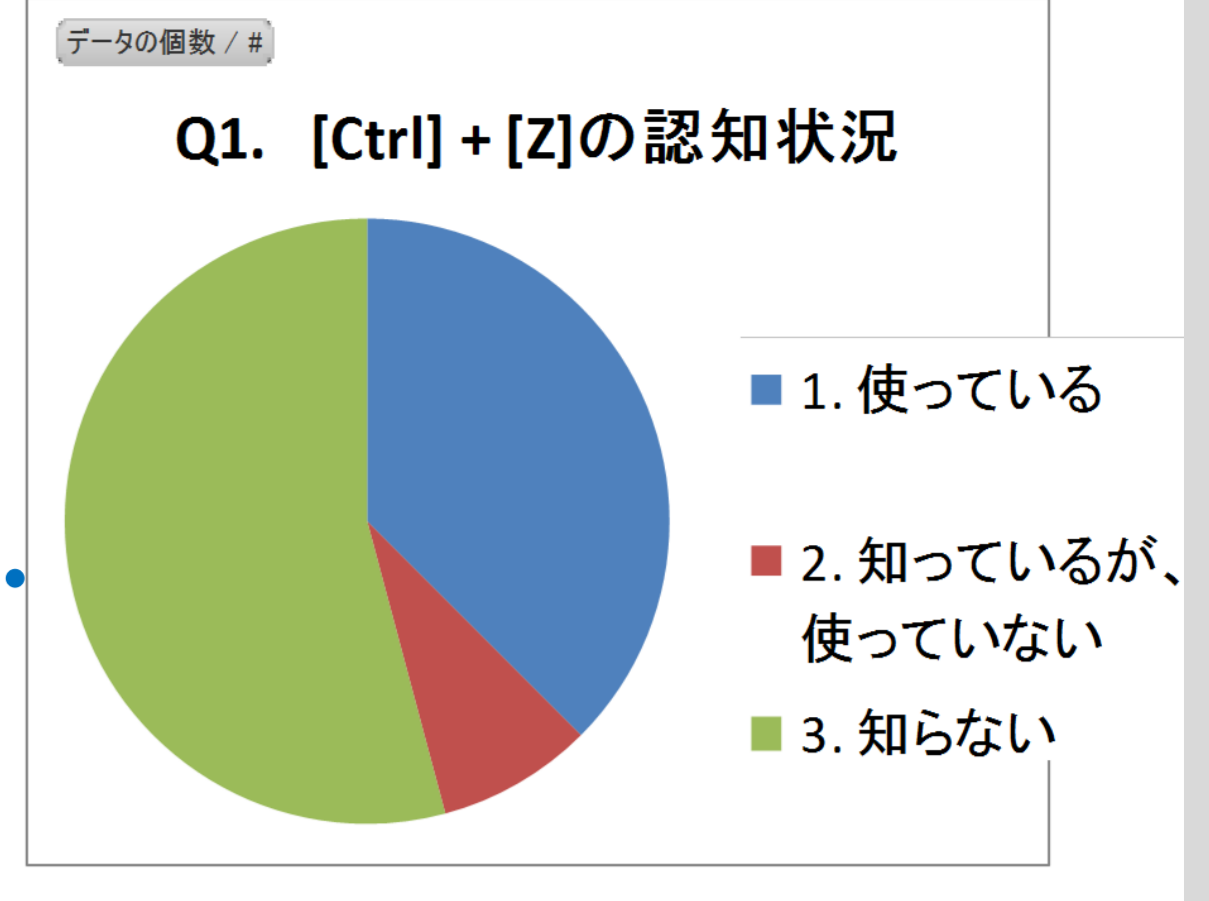
- 所属一丸となって業務改善に取り組む機運(≒所属内での意思統一)がない
- 業務改善のための労力を確保できない

手つかずの鉱脈

IT教育の盲点(ジェネレーションギャップ)

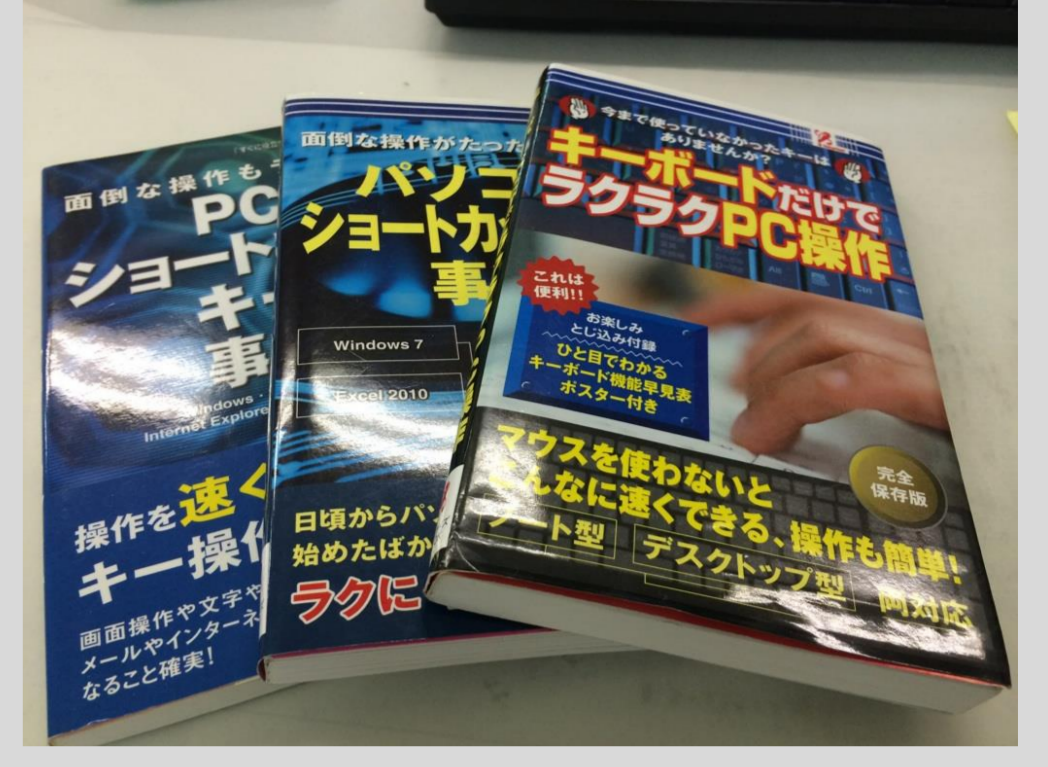
- 現在の在籍している職員は、PCの技術に関する体系的な教育を受けていないため、職員間で大きなレベルの差がある。
- ショートカットキーの認知率についても半分程度にとどまっている。

知られていないショートカットキー



ショートカットキーの必要性

- ショートカットキーは、作業時間を短縮できるなど、非常に有用な技術である。
- 10人に1人程度は、書籍を所有するなど、ショートカットキーの必要性は認識されているものの、書籍はあまり活用されていない。



①ショートカットキー辞典

若手PC上級者が中心となり、ショートカットキー辞典を作成し、体系化

- ★5: 使っていない人は人生損します。
- ★4: 作業が飛躍的に快適に!
- ★3: ここまでくれば上級者!
- ★2: 意地でもマウス使いたくない人向け
- ★1: 無駄知識、場合によっては封印推奨。

No.	ショートカットキー	操作	使用シーン	評価	備考
1	Ctrl + Z	ほぼすべてのソフト	一つ操作を前に戻す	★★★★★	必須
2	Ctrl + Y	ほぼすべてのソフト	やり直した操作をやり直す	★★★★★	必須
3	F2	①エクセル ②ワード ③ファイル名の変更	①セルの編集 ②オートシェイプの文字を編集 ③ファイル名の変更	★★★★★	必須
4	F3	エクセル	変更した名前を呼び取る	★★★★☆	必須
5	F5	①エクセル ②web	①入力したセルにジャンプ ②更新	★★★★☆	必須
6	F11	エクセル	グラフの挿入	★★★★☆	必須

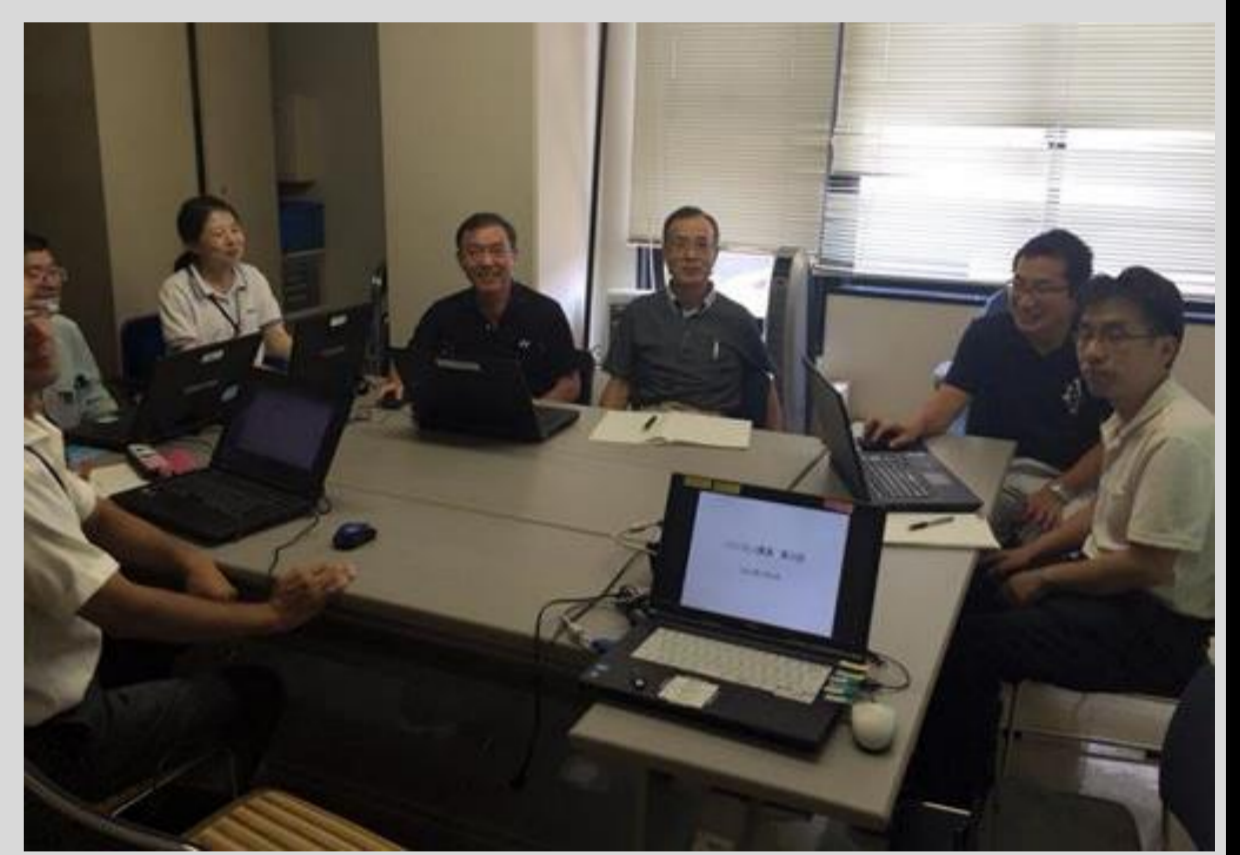
②ショートカットキー講座

スキルを伝授する毎月1回、15分間のミニ講座を実施

実施時間: 12時25分~40分
昼食後に開始、朝ドラまでにサクッと終了

実施実績
平成26年度: 4回
平成27年度: 3回

他勉強会とコラボした出前講座も



基本編×3 + 実用編×3 = 90分で一生役立つスキルが手に

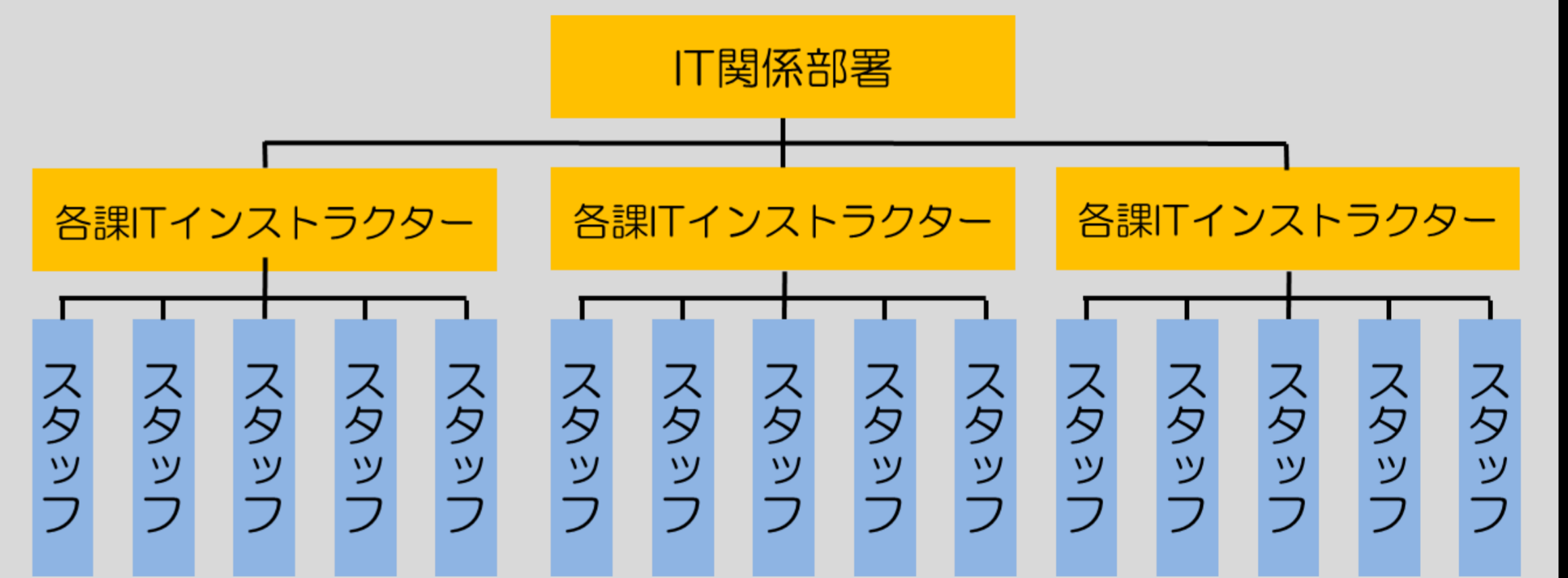
③ショートカットキー認証制度

- 能動的な学習を促進するため、辞典のデータベースを利用し、クイズ形式によるゲーム化 & 認証制度化
- 合格者には、エクセルマスター、ワードマスター、パワーポイントマスターといった称号を与える

列1	操作	使用シーン	回答
1	Ctrl + Z	ほぼすべてのソフト	①セルの編集 ②オートシェイプの文字を編集 ③ファイル名の変更
2	Ctrl + Y	ほぼすべてのソフト	①やり直した操作をやり直す ②やり直した操作をやり直す ③やり直した操作をやり直す
3	F2	①エクセル ②ワード ③ファイル名の変更	①セルの編集 ②オートシェイプの文字を編集 ③ファイル名の変更
4	F3	エクセル	変更した名前を呼び取る
5	F5	①エクセル ②web	①入力したセルにジャンプ ②更新
6	F11	エクセル	グラフの挿入

④IT教育の標準装備に

- ショートカットキーを大ブームに。
- ITインストラクターを活用し、IT教育のスタンダードに



馬鹿にできない効果

列1	操作	使用シーン
1	Ctrl + Z ※	ほぼすべてのソフト
2	Ctrl + Y	ほぼすべてのソフト
3	F2	①エクセル ②ワード ③ファイル名の変更
4	F3	エクセル
5	F5	①エクセル ②web
6	F11 ※	エクセル

(演習)
5行おきについている※マークを「F2キー」を使用して効率的に削除する

20個の※を削除した場合、マウス操作した場合に比べ、**作業時間が半減**
97秒⇒47秒

1人が生みだす効果

1日のうちショートカットキーで短縮される時間 (発表者の実体験による調べ)

- 使用した回数 110回
- 1回あたり、2.5秒短縮
- 1日に換算すると、約5分のゆとりが発生
- 1年間に換算すると、**20時間のゆとり**が発生

県職員(4,159人)全員がショートカットキーを使えたら...

全体で83180時間のゆとりが生まれる。
お金の換算すると**2億円**の効果

この「ゆとり」が更なる価値を創出する!

手軽に試行錯誤
「Ctrl + Z: 元に戻す」「Ctrl + Y: 繰り返す」の活用による手軽さ

リスク低減
「Ctrl + S: 上書き保存」を使ってこまめに保存で、PCのフリーズ等のリスクを低減

疲労軽減

いつか、壁を壊す大きな力へ!

浮いた時間で、新たな業務改善を、そしてさらに高度な問題へ

